



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月12日

上場会社名 中外鉱業株式会社

上場取引所 東

コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芳賀 一利

問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長 (氏名) 桜庭 勲

TEL 03-3201-1541

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	19,264	△51.7	276	—	235	—	△8	—
30年3月期第3四半期	39,904	4.7	△292	—	△346	—	△18	—

(注)包括利益 31年3月期第3四半期 226百万円 (—%) 30年3月期第3四半期 △368百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	△0.03	—
30年3月期第3四半期	△0.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	8,017	6,805	81.8	22.64
30年3月期	7,320	6,305	89.7	22.67

(参考)自己資本 31年3月期第3四半期 6,557百万円 30年3月期 6,566百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,600	△52.8	50	—	△10	—	△110	—	△0.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	289,747,982 株	30年3月期	289,747,982 株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	98,157 株	30年3月期	97,762 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	289,650,054 株	30年3月期3Q	289,651,113 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しや雇用・所得環境の改善、堅調な企業業績を背景に、景気は回復基調が続いているものの、米中貿易摩擦の長期化や海外経済の不確実性等、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において金価格は、年度前半は米国経済が好調であったことや米国利上げを背景に下落基調で推移したものの、その後は、米中貿易摩擦の激化等を背景に上昇基調で推移いたしました。不動産市況においては、住宅ローン減税等の経済政策や低金利の継続により住宅需要は底堅く、都心部のオフィス空室率は低水準で推移する等、堅調に推移いたしました。機械市況においては、米中貿易摩擦の影響から中国向け受注が鈍化傾向にあるものの、内外需ともに総じて受注は好調に推移したことから、中古工作機械業界においても概ね堅調に推移いたしました。コンテンツ事業においては、全国の小売店やネット通販・自社運営ECサイトにて自社商品を販売、各種物販イベントへの出展、アニメ製作委員会や番組スポンサーへ積極的な参加等、市場のニーズに合った商品の企画・製作・販売を展開しており、業績は概ね堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は19,264,268千円(前年同四半期39,904,335千円51.7%減)、営業損益は276,956千円の利益(前年同四半期292,189千円の損失)、経常損益は235,438千円の利益(前年同四半期346,159千円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損益は8,344千円の損失(前年同四半期18,129千円の損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は17,021,168千円(前年同四半期38,147,852千円)、営業損益は5,859千円の利益(前年同四半期153,548千円の利益)となりました。

不動産事業におきましては、売上高は197,865千円(前年同四半期1,229,267千円)、営業損益は5,375千円の利益(前年同四半期593,128千円の利益)となりました。

機械事業におきましては、売上高は985,589千円(前年同四半期951,358千円)、営業損益は46,402千円の利益(前年同四半期44,086千円の損失)となりました。

投資事業におきましては、営業損益は467,624千円の利益(前年同四半期733,498千円の損失)となりました。

コンテンツ事業におきましては、売上高は584,461千円(前年同四半期291,830千円)、営業損益は29,729千円の利益(前年同四半期25,986千円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より696,255千円増加し、8,017,103千円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末より672,415千円増加し、5,341,340千円となりました。

増加の主なものは、商品及び製品の増加(845,079千円から1,177,574千円へ332,495千円の増加)及びデリバティブ債権の増加(485,000千円の増加)であります。

減少の主なものは、現金及び預金の減少(1,589,909千円から1,294,060千円へ295,848千円の減少)であります。

固定資産の残高は、前連結会計年度末より23,839千円増加し、2,675,763千円となりました。

増加の主なものは、建設仮勘定の増加(48,411千円の増加)及びコンテンツ資産の増加(6,886千円から16,365千円へ9,478千円の増加)であります。

流動負債の残高は、前連結会計年度末より135,374千円増加し、795,487千円となりました。

増加の主なものは、買掛金の増加(19,825千円から102,173千円へ82,347千円の増加)及び短期借入金の増加(300,000千円から400,000千円へ100,000千円の増加)であります。

固定負債の残高は、前連結会計年度末より60,819千円増加し、416,282千円となりました。

増加の主なものは、長期借入金の増加(115,620千円から179,180千円へ63,560千円の増加)であります。

純資産の残高は、前連結会計年度末より500,062千円増加し、6,805,334千円となりました。

増加の主なものは、非支配株主持分の増加(△260,752千円から247,573千円へ508,325千円の増加)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期通期業績予想につきましては、今後の貴金属価格の動向により業績は大きく影響を受けるため、連結業績予想の修正は行っておりません。確定次第速やかに公表します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,589,909	1,294,060
売掛金	84,189	158,190
商品及び製品	845,079	1,177,574
仕掛品	255,760	354,393
原材料及び貯蔵品	16,227	11,606
販売用不動産	605,118	559,720
仕掛販売用不動産	—	50,795
デリバティブ債権	—	485,000
預け金	1,209,799	1,164,381
その他	75,841	98,618
貸倒引当金	△13,000	△13,000
流動資産合計	4,668,924	5,341,340
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,276,321	1,277,289
減価償却累計額	△657,822	△699,079
建物及び構築物 (純額)	618,499	578,210
機械装置及び運搬具	527,761	525,744
減価償却累計額	△444,706	△452,372
機械装置及び運搬具 (純額)	83,054	73,372
土地	1,691,391	1,691,391
その他	113,363	114,226
減価償却累計額	△103,462	△104,121
その他 (純額)	9,900	10,105
建設仮勘定	—	48,411
有形固定資産合計	2,402,846	2,401,490
無形固定資産		
コンテンツ資産	6,886	16,365
その他	6,359	5,911
無形固定資産合計	13,246	22,276
投資その他の資産		
投資有価証券	101,946	101,946
出資金	9,205	10,205
長期未収入金	487,019	487,019
敷金及び保証金	115,450	114,832
その他	9,228	25,012
貸倒引当金	△487,019	△487,019
投資その他の資産合計	235,831	251,996
固定資産合計	2,651,923	2,675,763
資産合計	7,320,848	8,017,103

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,825	102,173
短期借入金	300,000	400,000
関係会社短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	151,320	133,000
未払金	32,347	23,187
未払法人税等	41,892	9,434
デリバティブ債務	25,900	—
その他	38,827	77,692
流動負債合計	660,112	795,487
固定負債		
長期借入金	115,620	179,180
長期末払金	5,379	978
金属鋁業等鋁害防止引当金	3,953	3,953
預り敷金保証金	16,902	16,688
繰延税金負債	15,244	13,748
資産除去債務	198,363	201,734
固定負債合計	355,462	416,282
負債合計	1,015,575	1,211,769
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,248,926	6,248,926
利益剰余金	348,471	340,126
自己株式	△31,227	△31,235
株主資本合計	6,566,170	6,557,817
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△146	△57
その他の包括利益累計額合計	△146	△57
非支配株主持分	△260,752	247,573
純資産合計	6,305,272	6,805,334
負債純資産合計	7,320,848	8,017,103

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	39,904,335	19,264,268
売上原価	39,205,006	17,989,926
売上総利益	699,328	1,274,341
販売費及び一般管理費	991,518	997,385
営業利益又は営業損失(△)	△292,189	276,956
営業外収益		
受取利息	20	21
国庫補助金収入	10,057	9,725
保険金収入	737	11,289
その他	2,182	1,309
営業外収益合計	12,997	22,345
営業外費用		
支払利息	5,703	5,886
休山管理費	56,022	53,408
その他	5,240	4,569
営業外費用合計	66,967	63,864
経常利益又は経常損失(△)	△346,159	235,438
特別利益		
固定資産売却益	565	83
特別利益合計	565	83
特別損失		
固定資産除却損	2,673	—
特別損失合計	2,673	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△348,268	235,521
法人税、住民税及び事業税	23,006	10,822
法人税等調整額	△3,252	△1,495
法人税等合計	19,754	9,326
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△368,022	226,194
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△349,892	234,539
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△18,129	△8,344

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△368,022	226,194
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	88
その他の包括利益合計	—	88
四半期包括利益	△368,022	226,283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18,129	△8,255
非支配株主に係る四半期包括利益	△349,892	234,539

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	投資事業	コンテンツ 事業		
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	38,147,852	1,217,245	951,358	△710,974	291,830	7,023	39,904,335
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	12,022	—	—	—	—	12,022
計	38,147,852	1,229,267	951,358	△710,974	291,830	7,023	39,916,358
セグメント利益又は セグメント損失(△)	153,548	593,128	△44,086	△733,498	25,986	2,740	△2,182

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	39,904,335
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△12,022	—
計	△12,022	39,904,335
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△290,007	△292,189

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△290,007千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△290,007千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第1四半期連結会計期間から、従来の報告セグメントである「貴金属事業」と「宝飾事業」の区分を統合して、「貴金属事業」セグメントに区分しております。これは、営業強化を図るため事業部の再編を行い貴金属部と宝飾部の統合したことによるものです。

また、「その他」に含まれていた「コンテンツ事業」について、事業規模が拡大し、経営における重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	投資事業	コンテンツ 事業		
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	17,021,168	186,195	985,589	478,939	584,461	7,915	19,264,268
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	11,669	—	—	—	—	11,669
計	17,021,168	197,865	985,589	478,939	584,461	7,915	19,275,938
セグメント利益又は セグメント損失(△)	5,859	5,375	46,402	467,624	29,729	3,738	558,730

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	19,264,268
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△11,669	—
計	△11,669	19,264,268
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△281,773	276,956

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電収入、不動産賃貸収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△281,773千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△281,773千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項
該当事項はありません。